



名古屋YWCA

キリスト教基盤に立ち、共に生きる平和な社会を実現する

2026 年度活動目標
繋がりあう力を培い、
新たな活動を共に創り出す

2026
6・7
687 号

名古屋YWCAが長年積み重ねてきた力をさらに大きく

若者の 「育つ・学ぶ・出会う」を支える

文部科学省委託事業「認定日本語教育機関活用促進事業」

2025 年 7 月から 2026 年 1 月にかけて、文部科学省から「多文化共生社会の担い手を育むための教育連携モデル構築事業」を受託し、外国にルーツを持つ若者を対象とした、以下のような取り組みを行いました。

■ 5 つの柱と成果

① ライラ・プログラム

(外国ルーツの高校生の企業インターン)

米国の「クリストレイスクール」をモデルに、外国ルーツの高校生が週 1 回企業で働き、その対価を奨学金として学費に充てる制度を設計しました。2026 年 2 月に、金城学院大学、コスモス国際特許商標事務所など 4 機関での試行を実施し、NYAIC の生徒 4 名が参加しました。本格実施は 2026 年 9 月の開始を目標に、準備を進めています。高校生が社会と接点を持ちながら自分の未来を描いていく、日本ではほとんど例のない社会連携の形です。

② ジョブインタビュー&ビジターセッション (日本語学校学生と企業の対話)

日本語学校の学生が企業を訪問する「ジョブインタビュー」と、企業の方が学校を訪れる「ビジターセッション」を組み合わせたプログラムです。名古屋鉄道(株)、コクヨマーケティング(株)、日本赤十字社などの協力を得て実施しました。実際の職場の声に触れ、日本語で社会人と対話できた経験は、学生にとって進路を考える大きな一歩となりました。今後は「就職準備のための日本語 1 年課程」



一般企業での就業体験をする
ライラ・プログラム
(6 面に関連記事)

の授業の一環として半年に 1 度、定期的に継続していきます。

③ 学校教員向け日本語・教科指導講座 全 5 回

外国ルーツの子どもを受け入れる教員と支援者を対象に、5 回の連続講座を開催し、延べ約 150 名が受講しました。最終回には韓国の NPO「ピースモモ」を招き、「安心できる学びの場づくり」をテーマに参加型ワークショップを実施。学校現場での実践に直接つながる内容となりました。

④ 職場日本語アドバイザー

日本語教師が企業を訪問し、外国籍社員の職場定着を支える「職場日本語アドバイザー」は、介護事業所での試行を経て 2026 年度からの本格導入が決定しました。

⑤ ホットキャンプ

家庭でケアを担う外国ルーツの中高生を対象に 1 泊 2 日のリトリートキャンプを開催しました(参加 17 名)。※リトリート：非日常の癒し

■ 今後に向けて

「若者が安心して未来を描ける社会をつくる」それは名古屋YWCAが創立以来、形を変えながら追いつけてきた課題です。この事業で得た知見とご縁を、次の取り組みへとつなげていきます。

ライラ・プログラムは、本格実施に向け、現在、受け入れ企業・団体を募っています。皆さまのご協力をよろしくお願いします。

西田文乃(名古屋YWCA総幹事)

今月の聖句

「明日のことまで思い悩むな。
明日のことは明日自らが思い悩む。
その日の苦労は、
その日だけで十分である。」
(マタイによる福音書 6 章 34 節)

2026、2027年度日本YWCA第4期LA（地域連携プログラム）

「戦争体験の継承を考える」プロジェクト

LA（ローカルアクション）とは、全国の地域YWCAが主体となつて行う、YWCAのビジョン・ミッションに基づいた社会貢献活動です。地域YWCA同士や他団体とも積極的に連携・協働するプログラムに対し、日本YWCAが資金面や広報で活動を支援します。2026～2027年度の2年間で実施する第4期LAのキーワードは「世代を超えたリーダーシップ」。LAを通じてユースをもっと活動に巻き込んでいくことを目指します。

今回の企画「戦争体験の継承を考える」は、東京YWCAが拠点となり、名古屋YWCAが協働する形で進められます。ユースが主体となつてトークイベント、スタディツアーなどのプログラムを計画し、ミドル・

シニアによるサポートチームがユースを支えていきます。ユースの活動期間は2026年8月頃から約1年半という計画で、単発で終わらない継続的な関わりを期待しています。

これまで名古屋YWCAで行ってきた沖縄スタディツアーなどのノウハウを活かし、今この時代だからこそ発信したいユースの思いが社会に届くよう活動を推進していきます。今は活動するユースの募集に向けて広報の検討をしているところです。興味のあるユースがお近くにいらっしゃいましたら、ぜひご紹介ください。（実行委員会 新倉春美）



今年度の2.11平和集会について

私たちは2月11日を「思想、信教の自由を守る」ために大切な日ととらえ、「天皇制問題を考える2.11集会」、「2.11平和集会」を通じ、多岐にわたるテーマで真の平和を作りだすために働きかけてきました。

2026年度のこの取り組みについて、運営委員会は以下の理由から、従来の形での実施を見送ることといたしました。

第一に、日本YWCAの第4期ローカルアクション（LA）「戦争体験の継承を考える」の一環で、講演会などを実施する予定です。このプログラムは、私たちが2.11集会で問い続けてきた「平和を作

る」という主旨と深く重なるものです。

第二に、これまでの2.11平和集会の実行委員や運営委員の多くが、LAの実行委員として参加しており、両方の企画・運営を同時に担うことは現実的でないと判断しました。これらを踏まえ、今年はLAのプログラムに集中することが最善であると判断しました。

既に、名古屋・東京YWCAの会員によるLAの実行委員会が組織され、これからユースの参加を広く募っていくところです。青少年部会でもLAのプログラムへ関わっていくことになります。皆様のご理解と、今後行われる予定のプログラムへのご参加をお願いいたします。（会長 松村真理子）

キリスト教基盤講演会

読書会で読んでいる、「ヘイトをのりこえる教室」の著者、金迅野さんをお迎えして講演会を行います



共に生きるために、私はどう行動するか
急増するヘイト社会の中で

6月27日（土） 13:30～15:00

講師：金迅野（キム・シンヤ）さん

在日大韓基督教会横須賀教会牧師、立教大学大学院特任准教授
1960年生まれ。専門は実践神学、多文化共生論と人権教育

参加費：1,000円 寄付つき 1,500円

場所：名古屋YWCA 2階／オンライン

主催：キリスト教基盤部会



申込み peatix

広報ファンドレイジング委員会

リサイクル衣料部

活動資金のために、みなさまから寄付していただいた衣料を2階ロビーで販売しています。会館にいらしたら、ぜひ掘り出し物を見つけてください。

衣類の寄付は通年で受付けています。

＊新品または洗濯したもの

2025年度のリサイクル衣料の

売上げは170,800円でした。

名古屋YWCAの活動に使います。

ありがとうございました。

リサイクル衣料部



グループ活動紹介

女性の居場所 とまり木

仕事や生活、人間関係にちょっと疲れたとき
なんとなく、心がもやもやするとき
ここでは、安心してほっと一息つけます

季節ごとのお楽しみもいっぱい。3月は桜餅、5月は柏餅、秋にはかぼちゃのお菓子、12月にはクリスマスケーキデコレーション。夏には浴衣で写真を撮って盛り上がりました。折り紙や毛糸の手芸、カードづくりなど、手を動かしながら、話しも弾みます。

*毎月第二・第四水曜日 17:30～20:00

*女性のみ

*開催時間内出入り自由です

*参加無料 *会場での飲食OKです



みんなでおいしいものを作ることもあります

日々のちょっとした疑問、対人関係のもやもや、女性ならではの生きづらさ、そして楽しかった経験まで…ここでは、自然と「おしゃべりの花」が咲きます。

どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。あなたのペースで過ごせる、あたたかな場所です。

「とまり木」に賛同した有志の寄付とクリスマスミニバザーの売り上げ金などで、ちょっとしたおやつや軽食も用意しています。

参加者はもちろん、スタッフも大募集しています。
ぜひ、仲間になりましょう。(近藤八津子)

活動を終了した 手芸グループ

手仕事の作品を販売して活動資金に充てる「手芸グループ」(以前は「お仕事会」と呼ばれていました)が、2025年度で一旦、幕を降ろしました。バザーなど資金集めのイベントには欠かせないこの活動は、名古屋YWCAの歴史とともにありました。

4月の終わり、かつてのメンバーが集まる機会がありましたので、お話をうかがいました。(新聞委員会 下方タ子)



バザーのために手芸品を制作(1950年代)

新聞委員会：手芸グループの始まりは、手芸教室ですか？

坂 英子さん：小栗先生の教室があったわね。1年くらいだったかしら。

(編集注) 1965年頃に小栗幸子先生の「手芸クラブ」という教室があった。

新聞委員会：名古屋YWCAが始まった時からバザーでは手芸品は人気商品だったようですね。



左から坂英子さん、安藤豊子さん、山本良美さん、朽久保澤子さん

安藤豊子さん：化粧ケープやエプロン…。枕カバーを1年分まとめて買う人もいましたよ。ちょっとした刺繍が入っているのが魅力だったわね。

山本良美さん：当時、朽久保さんが担当職員だったのでは？

朽久保澤子さん：そうだったかな。岡崎や鳴子のもより会に木彫を教えに行きましたよ。

安藤さん：布に下絵を書いて、刺繍糸とセットしたものをBG(有職婦人)グループやもより会、労働センターの人たちに渡して作ってもらったんです。

山本さん：作るのが間に合わないから、刺繍しながら財務委員会に出てましたよ。

新聞委員会：長い間、名古屋YWCAの活動を支えてくださって、ありがとうございました。

手芸グループ作品販売会

6月25日(木)～27日(土)

名古屋YWCA 2階ロビー



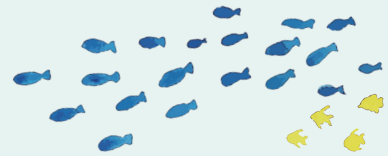
名古屋YWCAのキャラクター「きふっち」のLINEスタンプ販売中！

<http://line.me/S/sticker/1288156> または「Kifuchie」で検索してください。



聖書に聞く 105

島しづ子 (日本基督教団うふざと伝道所牧師)



共感と思いやり

「さあ、見に来てください。わたしが行ったことをすべて、言い当てた人がいます。もしかしたら、この方がメシアかもしれません。」 (ヨハネによる福音書 4章 29節)

沖縄には「ぬちぐすい」という言葉がある。「命の薬」という意味だ。景色に感動した、いい話を聞いたとき、美味しいものを食べた時、親切に出会ったときなどに使われる。

イエスがサマリアの町の井戸端で一休みしていたとき、サマリアの女性が水汲みに来た。イエスは人目を避けて水汲みに来たその女性に声をかける。「水を飲ませてください」と。サマリアの女性はユダヤ人の男性が、普段付き合いを避けているはずのサマリア人である自分に声をかけたことに驚いた。あれこれ話しているうちに、イエスは女性に「あなたの夫をここに呼んで来なさい」と言う。失礼な物言いだ、女性は「わたしには夫はいません」と答えた。かつて五人の夫がいたが、今連れ添っている人も夫ではないという意識だった。奔放な女性と見られてきたかもしれない。イエスは、彼女が愛を求めてさまよい、今も満足していないことを見抜いたようだ。

3月に辺野古で痛恨の事故があった(※)。友人たちが、かける言葉が無いと言いながら、いたわりの声を届けてくれた。ある方は「ご心痛のほど、お察し申し上げます。お力を落とさないようにお祈り申し上げます」という短い手紙をくださった。

事故によって亡くなられた方の遺族、関係者たちがみな傷ついている。だから傷口を優しく包む必要がある。イエスは医者でもリハビリの先生でもなかったのに、なぜ多くの病人たちが癒されたのだろうか？ 私は友人たちの共感の思いやりによって包帯を巻いてもらっている感じがしている。サマリアの女性は自分が意識していなかった魂の渇きをイエスが指摘した時、救われたのであろう。傷ついていた人々はイエスの共感によって癒しを与えられたのかもしれない。

※ 3月16日に沖縄県名護市辺野古沖で、ヘリ基地反対協議会が保有する小型船2隻が転覆し、高校生1名と船長の男性牧師1名が死亡した事故

「女性と子どもの幸せ活動」のための
BOOK フェア
vol.9
あなたのBOOK愛が寄付になる



6日(土)11時～15時 8日(月)10時～13時

つぎはあなたに読んでほしい

古本市

6 (土) 文学カフェ 11:30～15:00

テーマ: 鬼平犯科帳

平蔵も唸る、江戸の味

同心「うさ忠(木村忠吾)」にちなんで...

うさぎしおりを作ろう



女性弁護士による 女性のための

≡ 無料 法律相談

毎月第2木曜日 午後2時～5時

場所: 名古屋YWCA

*1人1回限り/1時間

要予約 TEL 052-961-7707

*予約後、女性弁護士が担当できなくなった場合はご連絡します



恵沢法律事務所

離婚、相続、遺言、交通事故、不動産
その他 法律問題全般

弁護士 内河 恵一
弁護士 雑賀 正浩
弁護士 近藤 雅樹
弁護士 原 富祐美



〒460-0002
名古屋市中区丸の内1丁目
4番29号 愛協ビル3階
TEL 052-221-1150
FAX 052-221-8635

教会に おじゃまして～す⑧



小林光牧師に、にこやかにお出迎えいただき、木の香かおる真新しい教会に入りました。二階の礼拝堂は、まあいい電灯がぶかぶか浮いているようなステキな空間です。

一九〇五年に中区の橋町で始まった「名古屋第三美普教会」(※)、その後「熱田美普教会」と一つになった「熱田教会」は、戦火をもくぐりぬけて、二〇二五年に百二十年を迎え、これを記念して会堂を新築しました。椅子などの調度品やステンドグラスは旧会堂のものを使っており、その重厚感が歴史を感じさせます。

新会堂には、エレベーターが設置され、高齢者や車椅子の方でも安心して礼拝に参加できます。また、動画配信のための機材も完備されていました。

小林光牧師は、二〇〇五年に就任されて二十一年目。最初が百周年の年でした。

小林牧師とえば「音楽」で、ギターやオカリナを演奏されま



ギターとオカリナを演奏する小林光牧師



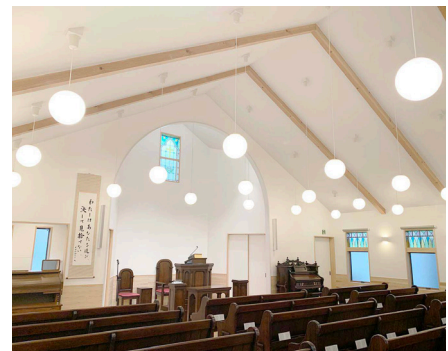
三代前の加藤久雄牧師が「家族ぐるみの教会」を提唱され、今も教会員は三代、四代にわたって繋がっています。

教会の奥には「堅磐信誠幼稚園」があり、年に一度のバザーを合同で開催するなど、楽しい交流があります。

※メソジスト(美)・プロテスタント(普)教会の略

日本キリスト教団 熱田教会

名古屋市熱田区玉の井町 9-28

2025 年に新築された教会堂
地下鉄「熱田神宮西」から徒歩 5 分

礼拝堂

土曜日(夜)はスペイン語の礼拝に場所を提供している

す。幼少の頃から教会で讃美歌などに触れていましたが、ギターを始めたきっかけは中学生の頃、フォークソングブームもあり、若い人たちがギターを弾いて歌っている姿に憧れたのだそうです。その後、牧師となって、教会などで頼まれて曲を作るようになり、オリジナルゴスペル集や CD も発表されています。

医療法人財団 愛泉会

理事長 井手 宏

愛知国際病院 院長 太田信吉

診療科：外科・消化器科 内科 整形外科
皮膚科 胃腸科 リハビリテーション
循環器科 リウマチ科
肛門科 神経内科

老人保健施設 愛泉館

施設長 井手 宏

〒470-0111 愛知県日進市米野木南山 987-31

愛知国際病院 0561-73-7721

ホスピス 0561-73-3191

訪問看護ステーション えまい 0561-73-8154

老人保健施設 愛泉館 0561-74-1711

有料老人ホーム カナン 0561-74-8260

日進市東部地域包括支援センター 0561-74-1300

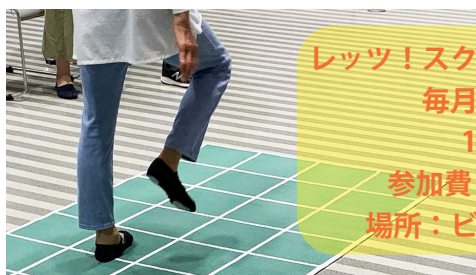
指定居宅介護支援事業所愛泉館 0561-74-1341

楽しく脳トレ！

スクエアステップを始めませんか

40マスのマットを使って、前後左右にステップするだけの、誰にでもできる簡単エクササイズです。

スポーツ医学や健康体力学などの国立大学の教員が連携して開発しました。シニア世代の転倒防止、介護予防、認知機能向上、そして体力づくりにおすすめです。



レッツ！スクエアステップ

毎月 第2金曜日

11:30 ~ 12:30

参加費：1回 600 円

場所：ビッグスペース

主催：広報ファンドレイジング委員会

私たちの活動は、みなさまの寄付で支えられています

寄付キャンペーン 6月 パープルサポート

詳細はロビーの掲示板、ホームページをご覧ください



Women's Counseling Nagoya YWCA
**ウイメンズカウセリング
 名古屋YWCA**



自由を奪われ、過酷な環境での労働者への扱いは人としての尊厳が守られているとはいえず、見ているうちに胸がざわつき、目をそむけたいくなるような思いになった。さらに監督はこの問題だけでなく沖縄の元軍属、慰安婦や原爆補償問題にも目を向け、様々な戦争被害の補償がいまだ十分に行われていない現実がある事にも問題意識を感じた。強制労働の体験者の証言を過去の出来事として記録するためだけにではなく、その記憶を社会に残し、なかつたことにされないためにもあり「忘れかけている声を今に伝える」という監督の強い意思を感じた。今回の視聴により、これまで自分の理解が一面だったことに気づき、同じ場所や歴史でも立場によって全く異なる現実があることを、知ることができた。これから様々な立場から出来事を見つめなおしていきたいと思った。

(吉田益美)

バクナム 朴壽南・朴麻衣共同監督
 ドキュメンタリー映画『よみがえる声』
 をみて、軍艦島の印象が大きく変わった。ドラマ『海に眠るダイヤモンド』を通して、軍艦島は近代化を象徴する場所、活気ある場所として捉えていたが、本作では強制労働者として連れてこられた人々の過酷な現実が語られていた。



語学・教育部



名古屋YWCA高等学院国際コース (サポート校)



一般企業で就業体験をする生徒(左)

3年目となった、外国にルーツをもつ生徒のためのサポート校「NYAIC」は4月に20名の新生

入生を迎え、全学年が揃いました。

2月に、初の試みとなる一般企業でのインターンシップを実施しました。市内の大学や企業でそれぞれの強みを活かした就業体験に臨んだ生徒の中から、3名の活動を紹介します。(朴亜紀子)

エイタン (フィリピン)：建設会社での実務レクチャー

デスクワークやビル管理の具体的な業務を学びました。緊張の中、事前に受講したマナー講座の内容を思い

出し、社会人としての振る舞いを意識して取り組むことができました。

マリー (フィリピン)：大学での入試広報・翻訳業務

留学生向けのチラシ英訳やPR動画制作を体験しました。語学力を活かして難しい業務も速やかに理解し、外国の生徒目線の意見を伝えるなど、自らの強みを活かして積極的に貢献しました。

ギ (ベトナム)：Web制作会社での制作体験

カレンダー制作を通じて日本の「六曜」などの文化に触れました。将来日本で働く自分を具体的にイメージしながら、敬語の練習への意欲をさらに高める貴重な時間となりました。

この成果を足掛かりに、今後は就労支援を軸としたプログラムの本格導入を目指します。学校での学びを「働く力」へと繋げ、地域の企業や大学との連携を深めながら、一人ひとりが希望を持って自立できるよう、体制を整えていきます。

実社会での挑戦をやり遂げた生徒たちはもちろん、日々教室で共に学ぶ全ての生徒たちの成長を今後とも温かく見守っていただきますようお願いします。

司法書士事務所 ひらら

司法書士 たいら かずき 平良 一器
 司法書士 はやしぐち さとえ 林口 里枝

日進市赤池 2-607 クロムビル 2A TEL 052-680-8978

登記・相続・遺言・成年後見・借金整理

NYAIC「特別学習支援金」寄付のお願い

経済的な理由で勉強を諦めてほしくないとの思いから、支援金を給付しています。この支援金は全て寄付からなるものです。継続的に生徒に給付できるよう、ご支援をお願いします。

寄付の方法は8ページをご覧ください。

日本語学校

日本語学校奨学金にご協力いただき、ありがとうございます。
2026年度春学期の奨学生が決まりましたので、ご紹介します。
(原文のまま)



J3 ビッピン (ネパール)

日本語学校の奨学金をいただき、本当にありがとうございます。このお金はこれからの勉強や生活のために大切に使います。もっと日本語が上手になるように、毎日しっかり勉強したいです。また、新しいことをして、自分を成長させたいと思います。これからもあきらめないで、がんばります。本当にありがとうございました。



J2 アイソ (中国)

奨学金をいただき、本当に嬉しいです。入門コースから、ずっとみなさんに手伝っていただきました。ありがとうございます。家族の経済的な負担が少なくなりました。これで、もっと安心して勉強に集中できます。いただいたお金は日本語の勉強と授業料に使います。毎日、日本語を頑張って勉強して、N3に合格したいです。これからも一生懸命頑張ります。



J2' チョウ (中国)

奨学金をいただき、本当にありがとうございます。この機会を大切にしたいと思います。このお金は次のクラスのために使います。これからも日本語の勉強を頑張ります。そして、学校での勉強を通して、日本語を流暢に話せるようになって、自分の夢を実現したいと思います。先生方のご指導に心から感謝しております。

日本語教師養成講座

第三国定住難民への日本語支援

コーディネーター 中島純子

難民事業本部の委託を受け、2020年から第3国定住難民への日本語支援を行っています。私は初年度の第10陣への支援に続き、現在は15陣のミャンマーなどから来た立場も年齢も様々な方たちへの日本語支援を行っています。

活動内容は、オンラインクラスと対面クラスのハイブリッドスタイルで、今年度からは「まるごと（日本のことばと文化）」をメインテキストに、生活日本語を学んでいます。オンラインクラスは毎週、対面クラスは2か月に1回ほどのペースで行い、対面クラスの時にそこまでの学習の確認や、「書く」力の向上につながる活動を行っています。

日ごろは画面越しの参加者同士ですが、対面クラスの日には直接顔を合わせる貴重な時間なので、久しぶりに

会う仲間と楽しく過ごせるひと時ともなっています。

言葉を学ぶのにはどう

しても年齢の問題がついて回ります。子ども世代は吸収が早く、早々に自然な日本語を習得していく一方で、私たちと同じ親世代は覚えたことを忘れないようにするのに苦労します。参加者のおひとりが、「もう6冊目です」と日本語の勉強ノートを見せてくれたときは、本当に頭が下がる思いでした。私たちスタッフも彼らとしっかり向き合い、5年の期間が終わった後も、彼らが自立的に日本語を学び続けていけるようにするには何が必要なのかを考え、授業に活かしていきたいです。

15陣の方々が安心して日本での生活が送れるよう、支援を続けていきたいと思っています。



私たちの活動は、みなさまの寄付で支えられています

寄付キャンペーン

7・8月 グローバルスクール

詳細はロビーの掲示板、ホームページをご覧ください



ご紹介ください

広告募集中

1年6回30,000円

名古屋YWCA 新聞委員会



この春、息子が就職しました。何度も促され、時には雷を落とされて、ようやく重い腰を上げて自分の部屋を掃除するようなめんどくさがりな息子。そんな子が、土地勘のない大阪で「初めての仕事」と「初めての一人暮らし」を同時にスタートさせました。

健康的な食事はできるの？朝は起きられるの？金銭管理はできるの？親の尽きない心配をよそに、本人はまるで一週間ほどの旅行にでも行くような

軽い「行ってきます」の言葉を残して旅立っていきました。今はまだ、新生活への希望しか見えていないのでしょうか。けれど、これから直面するであろう苦労や壁を一つひとつ乗り越え、大人として自立していくことを願っています。そのための一歩に、まずめんどくさがりには直してもらいたいです。いつか、彼が見つけた大阪の美味しいお店に招待してもらう日を、密かに楽しみにしています。

(職員 中島優子)

役員報告

【三月】報告①二〇二五年度主要事業
②認定日本語教育機関活用促進事業
③協賛①二〇二六年度事業計画案承認
②二〇二六年度収支予算案承認

運営委員会報告

【三月】報告①日本YWCA ②理事会
③キリスト教基盤部会 ④平和集会実行委員会
⑤L.A「戦争体験の継承を考える」プロジェクト実行委員会 ⑥グループ・プログラム活動チーム ⑦会員状況 ⑧全体集会
⑨協議①全体集会 ②プログラム活動チーム ③二〇二六年度運営委員会について
【四月】報告①日本YWCA ②キリスト教基盤部会 ③青少年部会 ④L.A「戦争体験の継承を考える」プロジェクト実行委員会 ⑤グループ・プログラム活動チーム ⑥会員状況
⑨協議①今年度のスケジュール ②L.Aについて ③多文化まつりについて ④平和集会 ⑤指導者養成費

●新入会員●麻生あゆみ、イエイツ八千代、高橋夏代、中島優子

●協力ありがとうございました(以下、敬称略)
●賛助会費●鶴崎祥子
●一般寄付●中村隆、大川里恵
●指定寄付●
●青少年部会へ●鶴崎祥子
●グローバルスクールへ●飯野充子、諏訪昭子、長縄光子、長橋美保、匿名二名

先生が集まる場所

せんせーの
にじいろ
めがね

月1回 金曜日

いろいろ話そう!

6月19日、7月17日 18:30~20:00
参加費: 1,000円



*スーパークITCHンへ: 岩田えり子、飯野充子、大久保素子

(物産) MO-YA-CO、名古屋国際学園、匿名一名
*パープルサポートへ: 岩田玲子、匿名一名
*日本語学校奨学金基金へ: 磯村美保子、長谷川直春、長橋美保、諏訪昭子、飯野充子、大久保素子、匿名一名
*サポート校特別学習支援金: ヨシミドリ、岡田淳子、山下直樹、飯野充子、堀尾純子



昔々の名古屋YWCA機関紙からいろいろ拾って載せています。のぞいてみてください。
note.com/nagoyaywca_koho
(広報ファンドレイジング委員会)

2階ロビー販売

ひょうたんカフェ

しばらくお休み

おからドーナツ、
手織り製品など

MO-YA-CO

第2、4火曜
11:00~13:30
焼き菓子、シュー
クリームなど

日程変更の場合あり

パープルサポートへのご支援 ありがとうございました



2025年度のパープルサポートへのご寄付は391,500円でした。

DVや性暴力、虐待被害をうけ、経済的に困難な状況の女性15名に、延べ92回のカウンセリングを提供し、心理的回復の一助となることができました。今後ともご支援よろしくお願い致します。

女性のための相談・支援事業部

寄付のお願い

名古屋YWCAの活動は、みなさまのご寄付と会員の働きで支えられています。みなさまのあたたかいご支援を心よりお願いいたします。

2階受付窓口

名古屋YWCAビル2階の受付でお手続きください。
物品の寄付も受付ています。
詳細はお問い合わせください。

クレジットカード決済

名古屋YWCAホームページ「寄付のページ」、またはQRコードからおすみください。



郵便振替

郵便局の払込用紙をご利用ください。
振込み手数料はご負担ください。
口座番号: 00820-0-47814
加入者名: 公益財団法人名古屋YWCA
※通信欄に「〇〇へ寄付」と寄付先をご記入ください。
※機関紙などにお名前を公表します。
匿名を希望される方は「匿名」とお書き添えください。

会員になって いっしょに活動 しましょう

YWCAでは、理念である「平和で人権が尊ばれる社会の実現」のため、会員が自主的に運営、活動を実施しています。

詳細はお問い合わせください。



@nagoyaywca



@nagoya_ywca



nagoyaywca

発行所: 公益財団法人名古屋YWCA 〒460-0004 愛知県名古屋市中区新栄町2-3
TEL: (代表) 052-961-7707 FAX: 052-961-7719
e-mail: office@nagoya-ywca.or.jp HP: http://www.nagoya-ywca.or.jp

発行責任者 加藤佐紀子 編集責任者 下方タ子
偶数月1日発行
1部50円・定期購読1年900円/送料込み
振替 00820-0-47814